



言葉のつながりで政治家の政策提言や活動報告を可視化 ～九州大学発ベンチャーを目指す Lafla(らふら)プロジェクトの技術を活用～

概要

九州大学情報基盤研究開発センターの廣川佐千男教授が代表者を務める、Lafla プロジェクトと株式会社イーハイブは、同社が運営する選挙情報専門サイト「ele-log (エレログ)」において、テキストマイニング技術により、政治家の政策提言や活動報告を言葉のつながりで表現する新たな試みを開始しました。

背景

最近では、インターネットを通じて、自らの考えや提言を発信する政治家が増加しつつあります。特に政治家の方から発信する情報は、今後の政治の方向性を示唆するような重要な言葉が含まれていることがあると同時に、所属政党の考えも現れている場合があり、これらの情報に対して、非常に注目が集まっています。

その反面、多数の政治家が情報発信されていることから、すべての政治家の発言を閲覧することは困難となってきており、これらの情報を一元的に閲覧することを可能とするために、政治家ブログのポータルサイトがいくつか運営されています。

内容

株式会社イーハイブの運営する「ele-log (エレログ)」は、こうしたポータルサイトの1つですが、今回はこのポータルサイトに対し、さらに各政治家の政策提言や活動内容を言葉のつながりで可視化し、各政治家の発言を俯瞰的に捉えることができるよう工夫致しました。具体的には、株式会社イーハイブの運営する「ele-log (エレログ) 国政版」にてブログを登録・公開している18名の政治家に関して、そのブログに綴られた内容を元に分析(テキストマイニング)を行い、特徴的に現れている言葉や、その言葉と併せて用いられている言葉を抽出し、各言葉のつながりを可視化して見せています。言葉のつながりを表現する技術には、廣川教授が開発したテキストマイニング技術である「ConceptGraph®」と「MINDEX®」を利用しており、さらには、各言葉をクリックすることで、その言葉が含まれるブログ記事の一覧を簡単に表示するといった検索システムの機能も兼ね備えています。

また、言葉のつながりを可視化した「MINDEX®」では、閲覧者が気になる言葉を入力し、その言葉を中心とした表示が行えると同時に、検索エンジンにより、特定のキーワードにて同サイトにたどり着いた場合には、そのキーワードを中心とした表示に切り替わる機能も備えています。

今回の取り組みは、2008年1月25日に発表した『言葉のつながりで有価証券報告書を読む「有報Lenz™」』に続く、Laflaプロジェクトの取り組みとなります。

効果

大量の文章で構成されるブログは、最新の情報だけが閲覧される傾向にありますが、本取組では過去の文章も含めて、ブログ内で多く語られている言葉を露出し、そのことで閲覧者はブログで語ろうとしている内容を素早く察知することができるのと同時に、過去に作成した文章を含め、より多くの文章を閲覧することにつながります。また、言葉のつながりを見ていくことで、思わぬ言葉を発見し、そこからより深くブログの内容を読み進んでいくことにもつながります。

今後の展開

今後、同様の仕組みを各種企業が運営するブログポータルサイト、SNSサイト、ニュースポータルサイト向けに提供していく予定です。

【お問い合わせ】

九州大学情報基盤研究開発センター

次世代検索エンジン開発プロジェクト 担当：御手洗、江島

電話：092-642-7386

FAX：092-642-3844

Mail：info@lafla.co.jp

URL：<http://www.election.ne.jp/>（選挙情報専門サイトホームページ）

URL：<http://lafla.co.jp>（Lafla プロジェクトホームページ）

URL：<http://www.i-hive.co.jp/>（株式会社イーハイクホームページ）

【選挙情報専門サイトの画面例】

